令和７年度
小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業報告会について

令和8年8月27日
第10回会議
資 料 3

１　アンケート結果等（事業報告会）

アンケート対象	対象者数	回答者数	回答率
発表団体	18	11	61.1%
一般	16	17	106.3%
合計	34	28	82.4%

※市民活動推進委員会、事務局、ＵＭＥＣＯ職員のうち報告会従事者は除く。
※一般（16人）の内訳：Ｒ８補助金交付団体　８人、その他８人　Ⓐ
※網掛けは、「２方針（案）」に関連する部分で、対応する符号（Ⓐなど）を記載。

Ｑ１今回の報告会をどこでお知りになりましたか。（複数回答可）

選択肢	発表団体	一般	合計	
広報小田原		2	2	6.3%
市ホームページ		3	3	9.4%
ＵＭＥＣＯホームページ		4	4	12.5%
チラシ		1	1	3.1%
市の案内	2	5	7	21.9%
報告団体からの案内	6	3	9	28.1%
その他	1	2	3	9.4%
無回答	2	1	3	9.4%
合計	11	21	32	100.0%

※チラシ設置場所：ＵＭＥＣＯ
※その他の内容：上司から、Ｒ８年度補助金交付団体からの案内

Ｑ２会場の音響はいかがでしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計		
問題なかった	9	17	26	92.9%	Ⓑ
聞こえにくかった	1		1	3.6%	
その他	1		1	3.6%	
無回答					
合計	11	17	28	100.0%	

※音声が聞こえにくかったに関しての記述　Ⓑ
・マイクの声がこもって質問が聞き取りにくかった。

Ｑ３発表時間（８分まで）の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計		
長い					
適切	10	16	26	96.3%	Ⓒ
短い	1		1	3.7%	
合計	11	16	27	100.0%	

※短い場合の適切な時間：10分

Ｑ４質疑応答時間（７分程度）の長さは適切でしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
長い		1	1	3.7%
適切	9	15	24	88.9% Ⓒ
短い	2		2	7.4%
合計	11	16	27	100.0%

※短い場合の適切な時間：10～15分

※長いに関しての記述：質問が長い気がする。

Ｑ５発表では「他主体との協働」「今後の活動資金の確保」「若者の参加促進」から選んで言及いただくようお願いしていましたが、いかがでしたか。

選択肢	発表団体	一般	合計	
他団体の参考になると思う	11	14	25	89.3% Ⓓ
他団体の参考にならないと思う				
他に取り上げてほしい内容がある				
その他				
無回答		3	3	10.7%
合計	11	17	28	100.0%

Ｑ６その他、ご意見等を自由に記入してください。

・コンセプトがあいまいな団体があった。

・当団体とつながれそうな団体はなかった。

・自己満足的な応答をしていた団体があった。自己宣伝のように見えるので、事実だけを応答してほしい。

・ボランティア団体のネックは活動資金を集めることである。自治体や慈善団体の支援とドネーションに支えられている。ぜひ活動を見に来ていただきたい。

・２部の報告団体のお話は、非常に重いテーマで、どうしたら解決していけるのか難しいと思った。胸が苦しくなった。

・助成金をいただき、我々が対象としている方々へ最大限のイベントを行うことができた。

・とても内容が充実していていると思う。勉強になった。

Ｑ７あなたについて教えてください。

選択肢	発表団体	一般	合計	
市内在住	10	13	23	82.1%
市外在住	1	4	5	17.9%
合計	11	17	28	100.0%

２　アンケート結果等（交流会）

アンケート対象	対象者数	回答者数	回答率
発表団体	8	5	62.5%

※参加者の内訳：第１部報告者６人、第２部報告者２人 Ⓔ

Ｑ１交流会の時間はいかがでしたか。

選択肢	発表団体	回答割合
長い		
適切	3	60.0%
短い	2	40.0%
合計	5	100.0%

Ｑ２他団体の方と交流できましたか。

選択肢	発表団体	回答割合
とてもできた	1	20.0%
できた	3	60.0%
ややできなかった		
できなかった	1	20.0%
合計	5	100.0%

Ｑ３話しやすかったですか。

選択肢	発表団体	回答割合
とても話しやすい	2	40.0%
話しやすい	3	60.0%
やや話しやすい		
話しにくい		
合計	5	100.0%

○交流シート

・質問について２件の回答があったものの、回答先の記載がなかったため、質問ができなかった。 Ⓕ

３　次回の方針（案）　　※詳細な開催案は、今後、事務局から提示する予定。

アンケート等考察	次回の方針（案）
Ⓐ一般参加の内訳について、Ｒ８補助金交付団体　８人、その他８人であった。	①例年一般参加者数が少ないことが課題であるが、今年は、Ｒ８年度補助金交付団体の方に多く参加していただいた。また、今後補助金の活用を検討している団体の参加も見られたことから、ＵＭＥＣＯでの周知やデジタルサイネージの活用等を継続して行う。また、気軽に立ち寄ってもらえるよう、今年新たに実施したＵＭＥＣＯでの当日用案内掲示も継続する。
ⒷＱ２において、会場の音響について９割以上が「問題なかった」との回答であった。一方で、「音声が聞こえにくかった」とする意見があった。	②事前準備において後方席からの確認を強化し、対応する。場合によっては、マイクスタンドの使用を検討する。
ⒸＱ３・４において、発表時間と質疑応答時間について、約９割が「適切」としている。	④発表（８分まで）、質疑応答（７分程度）のいずれもそのまま継続する。
ⒹＱ５において、「他主体との協働」「今後の活動資金の確保」「若者の参加促進」への言及について、この項目に回答した方全員が「他団体の参考になると思う」との回答であった。	⑤各団体の活動の参考になるよう、発表における特定のテーマへの言及を継続する。事前説明や依頼の際には、提出だけでなく、発表もしていただけるよう、さらに案内を徹底する。
Ⓔ交流会の参加者の内訳について、第１部報告者６人、第２部報告者２人であった。	⑥交流会について、アンケート結果から他団体と交流できたことが伺えるため、来年も同様の形式で交流会を実施する。一方で、交流会への参加を十分に促すことができなかった。事前の周知を徹底し、報告団体の参加率を上げる方法を検討する。
Ⓕ交流シートについて、質問について２件の回答があったものの、回答先の記載がなかったため、質問ができなかった。	⑦交流シートについて提出の心当たりがないか、報告団体に確認したが、回答が返ってこなかった。そのため、一般参加者からの質問であったと推測する。交流シートの書式を見直し、回答先について書き漏れがないような位置に移動する。